

# Japan Hydrogen & Fuel Cell Demonstration Project

## 水素・燃料電池実証プロジェクト（JHFC）

「水素・燃料電池実証プロジェクト(Japan Hydrogen & Fuel Cell Demonstration Project)」は、経済産業省固体高分子形燃料電池システム実証等研究補助事業の内「燃料電池自動車実証研究」(実施者：財団法人日本電動車両協会)と「燃料電池自動車用水素供給設備実証研究」(実施者：財団法人エンジニアリング振興協会)から構成されるプロジェクトである。

### 特徴

#### 国内初の大規模な燃料電池自動車実証走行研究

平成 14 年度は、自動車メーカー 5 社の乗用車が公道走行試験に参加し、走行性能、信頼性、環境特性、燃費等の市街地走行データと水素充填ステーション使用データ等を取得・評価する。参加自動車メーカーは年度毎に公募する事から、来年度以降更に規模の拡大も予想される。

#### 異なる燃料・方式による水素供給設備を並行して運用する世界初の取組み

平成 14～15 年度で、液体水素、LPG 改質、脱硫ガソリン改質、メタノール改質等計 5 ヶ所の水素供給設備を建設し、本プロジェクトに参加する FCV で運用・評価する。また、液体水素製造技術の実証も行う。

**実施期間** 平成 14 (2002) 年度～16 (2004) 年度

### 目的

- 1) 燃料電池自動車及び水素供給設備の省エネルギー効果(二酸化炭素削減、効率)の明確化
- 2) 燃料電池自動車及び水素供給設備の環境(二酸化炭素以外)の観点での効果の明確化
- 3) 燃料電池自動車及び水素供給設備の安全等に係る規格、法規・基準の作成のためのデータ取得等
- 4) 燃料電池自動車及び水素供給設備の社会からの認知度を高めるための啓発活動

- 5) 燃料電池自動車及び水素供給設備の普及促進のための課題の明確化
- 6) 副生ガスからの水素を効率よく回収し、その回収した水素を配送するために効率よく液化する技術の開発実証

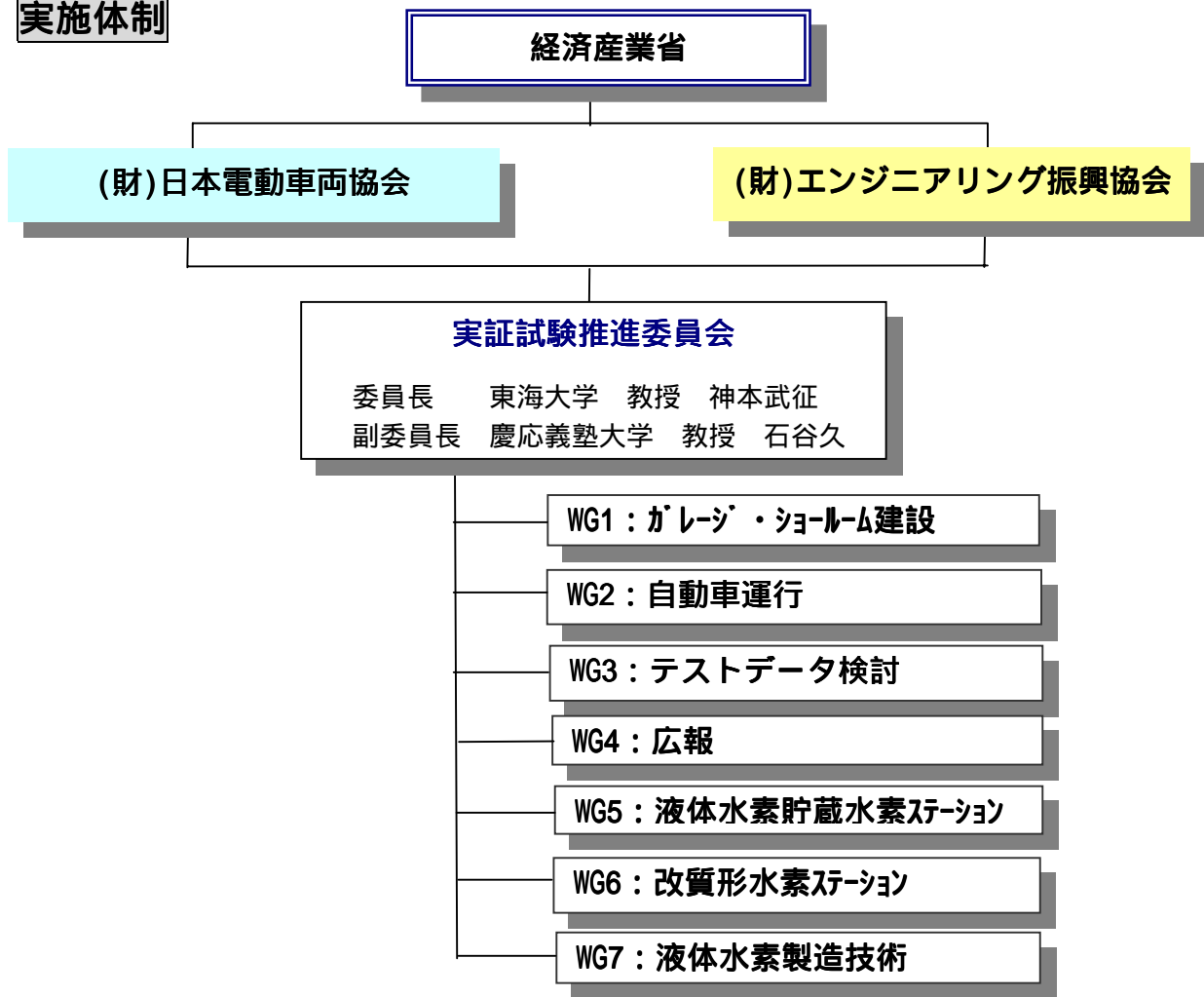
## JHFC 実施体制

<b>事業実施者</b>	(財)日本電動車両協会 (JEVA) (財)エンジニアリング振興協会 (ENAA)
<b>参加応募企業・団体</b> (H14 年度)	トヨタ自動車(株) 日産自動車(株) 本田技研工業(株) ダイムラー・クライスラー日本ホールディング(株) ゼネラルモーターズ・アジア・パシフィック・ジャパン(株) 新日本石油(株) コスモ石油(株) 昭和シェル石油(株) 東京ガス(株) 岩谷産業(株) 日本エア・リキード(株) 日本酸素(株) 新日本製鐵(株) (財)日本自動車研究所

### 水素インフラ・ガレージ/ショールーム

水素インフラ	場所	担当企業
液体水素貯蔵水素供給設備	東京都江東区有明	岩谷産業・昭和シェル
LPG 改質水素供給設備	東京都荒川区南千住	東京ガス・日本酸素
脱硫ガソリン改質水素供給設備	横浜市鶴見区大黒町	コスモ石油
ガレージ・ショールーム		
ナフサ改質水素供給設備	横浜市旭区上白根町	新日本石油
メタノール改質水素供給設備	川崎市川崎区小島町	日本エア・リキード
液体水素製造技術実証		新日本製鐵

**実施体制**



水素供給設備の完成予想図

**本件に関するお問い合わせ**

【燃料電池自動車】(財)日本自動車両協会 燃料電池車センター(丹下、鈴木)

電話(03)3503-3781 FAX(03)3503-8493

【水素供給ステーション】(財)エンジニアリング振興協会 WE-NET 推進室(濱、戸室)

電話(03)3502-4444 FAX(03)3502-4964